



菊池農業高等学校提供「書道部」

菊池

題字／菊池農業高等学校1年 か とく ま ゆ 可徳 真侑さん

議会だより

9月定例会 Contents

定例会審議結果	2
委員会報告	3~6
11人が市政を問う	8~13
各種研修報告	14~15

この定例会では、条例の制定、補正予算、決算の認定など19議案が提案されたほか、議員提出議案が2件、議事が2件、意見書案1件、報告が16件、請願が1件あり、慎重に審議しました。

審議の結果、議員提出議案第8号、請願第1号を除き、原案のとおり可決・承認・認定しました。議員提出議案第8号、請願第1号は否決、不採択となりました。

開催日：8月26日（火）～9月25日（木）

主なものは以下のとおりです。

主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

議案番号	議 案 名	結 果
議 案 第 7 1 号	令和7年度菊池市一般会計補正予算(第6号) (P4に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています。)	原案可決
議 案 第 7 2 号	令和7年度菊池市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議 案 第 7 3 号	令和7年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議 案 第 7 7 号	令和6年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定について (P4～6に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています。)	原案認定
議 案 第 7 8 号	令和6年度菊池市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議 案 第 7 9 号	令和6年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議 案 第 8 0 号	令和6年度菊池市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について (P6に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています。)	原案認定
議員提出議案第8号	菊池市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案否決
請 願 第 1 号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願 (不採択後に意見書修正案が提案され、全会一致で可決されました。可決された意見書はP7に掲載しています。)	不採択

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

議 案	議席番号		1	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	城	安	稲	古	島	大	田	福	緒	後	東	水	猿	荒	工	二ノ	泉	木	山
			太	武	継	田	春	宝	教	英	哲	英	奈	上	渡	木	藤	文	田	下	瀬
議 案 第 7 1 号	可決	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 7 2 号	可決	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 7 3 号	可決	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 7 7 号	認定	15 対 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	●	○	○	○	●	○
議 案 第 7 8 号	認定	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 7 9 号	認定	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第 8 0 号	認定	17 対 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第8号	否決	7 対 11	●	●	○	○	●	○	●	○	●	●	●	/	●	○	●	○	●	○	●
請 願 第 1 号	不採択	6 対 12	●	●	○	●	○	●	●	●	●	○	/	○	●	●	●	○	○	●	○

総務文教常任委員会報告

委員長／緒方 哲郎 副委員長／島 春代 委員／城太志郎 稲継 智康 福島 英徳 工藤 圭一郎 木下 雄二

可決

【議案第83号】

工事請負契約の変更について

内容 令和5年度から令和7年度までの継続事業の令和5年度菊池南中学校長寿命化改良工事について、新たに躯体劣化箇所の補修工事とアスベスト撤去工事などが必要となり、1億2,252万3,743円の増額の変更契約を締結するもの。

質疑 アスベスト等の増額分については、見積り時点で見落としていたのか。

答弁 設計の段階では精査していたが、壁を剥いだ下地の補修のほか、不可視の部分からアスベストが確認されたため増額となった。

質疑 国の補助金は、今回の増額分に対しても同率で交付されるのか。

答弁 国の補助金の算出は、施工延床面積に国の単価を乗じることになるため、今回の変更では延床面積の増加とはならず、国の補助金は増額とならない。

質疑 工事費の増額分の財源は、一般財源となるのか。

答弁 増額分に対する財源は、起債及び一般財源となるので、起債は、交付税措置のある学校教育施設等整備債を充てる予定である。



福祉厚生常任委員会 所管事務調査報告

委員長／猿渡 美智子 副委員長／本藤 潔 委員／古田 浩敏 東 奈津子 二ノ文 伸元 泉田 栄一郎

本委員会では、介護職員不足の現状と対策に関する調査を実施し、高齢支援課への質疑を通して課題を明確化するとともに、対策の検討と提言を行った。

提言書

介護職員不足を解消し、介護サービスを持続させるための取組について

1 国に対して引き続き次の点を要望すること。

・重ねて介護職員の処遇改善を行うこと。

・訪問介護事業所の介護報酬を引き上げること。

・DX化・介護ロボット等導入支援の拡大と、申請手続の簡素化を図ること。

・特別養護老人ホーム等の老朽化改修のための補助制度を作ること。

2 介護保険改正までの間、訪問介護事業所にガソリン代の補助を行うこと。

3 外国人人材雇用における、住居確保の受入環境整備や情報提供などの支援を行うこと。

4 入所型施設の介護職員不足対策として、特別養護老人ホーム等の職員に対し、勤務年数に応じた奨励金制度を作ること。

5 県や事業所と連携し、中高生が福祉の仕事に関心を持てる機会を作ること。



予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

委員長／工藤 圭一郎 副委員長／稲継 智康

分科会長／(総務文教)緒方 哲郎 (福祉厚生)猿渡 美智子 (経済建設)田中 教之 委員／議長を除く14名

可決

【議案第71号】

令和7年度菊池市一般会計補正予算(第6号)

集会所管理経費

258万9,000円

内容 指定管理者制度で行政区が管理運営している4つの集会所を来年度から地域移管するに当たり、各行政区から施設改修の要望があり修繕料を計上するもの。

質疑 地域との合意形成はできているのか。

答弁 各行政区と管理運営の協定書を締結しており、毎年委託料を10%ずつ減額しながら、令和8年度から地域移管するとして話をしてきた。現在、行政区との仮契約を進めている。

職員人件費

(生活保護総務費)

350万円

内容 新規の保護開始の増加及び保護廃止の件数の増加等に伴い、職員の時間外勤務手当を増額するものである。

質疑 生活保護担当の職員数と、職員1人当たりの平均案件はどのくらいか。

答弁 現在、ケースワーカーは7人であり、1人当たりの担当は50世帯前後である。



土地改良施設突発事故復旧事業

832万8,000円

内容 泗水町土地改良区が維持管理を行っている、合志川に設置された千五百石堰転倒ゲートの油圧シリンダーの1か所に不具合が生じており、修繕工事費の一部を補助するもの。

質疑 今現在、取水等に問題は無いのか。また修繕工事の施工時期は。

答弁 シリンダー部分から油漏れがあったものの、取水には問題ないと伺っている。また、早急に修繕工事を進めていただくよう連携をとっていく。

認定

【議案第77号】

令和6年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定

教育使用料(歳入)

質疑 市外団体のグラウンドの予約が多くなったため、市内の大会の予約がとりにくくなっている。市外使用料を値上げする考えはないか。

答弁 行政改革大綱に基づき、全庁的に使用料を見直す予定であり、検討したい。

議員問討議

市外料金の値上げによる市外団体の予約抑止や予備日の予約の取扱いの見直しなどの対策が必要である。



予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

企業版ふるさと納税促進事業

質 疑 企業側はその寄附の使い道を決められているのか。

答 弁 事業の内容を提示した上で、企業側の意向に沿った事業に充当している。



防犯対策事業

質 疑 防犯灯LED化の実績は。また、市内の防犯灯のLED普及率は。

答 弁 31行政区に166基分の補助金を交付した。また、LED化率は、令和6年度末時点で72・6%である。

質 疑 防犯灯1基当たりの補助金の額は。

答 弁 防犯灯1基当たり1万3,000円を上限とし、約2分の1を補助している。

地下水対策事業

質 疑 硝酸性窒素の暫定目標値を超えている地区数は。

答 弁 令和6年3月時点で、七城地区の7行政区が暫定目標値を超えていた。

質 疑 硝酸性窒素が暫定目標値を超えている主な要因は何か。

答 弁 家畜排泄物が主な要因の1つではあるが、家畜排泄物を撒くこと自体は違法ではないため、効果的な取組を営農者へ周知促進している。

菊池一族プロジェクト事業

質 疑 まちなか回遊促進事業で、熊本市の業者を選定した理由は。また、事業の費用対効果は。

答 弁 業者選定は、前年度から変更し、公募型プロポーザル方式で選定した。松囃子能場周辺で年間3回イベントを実施し、来場者の延べ人数は3,100人であった。



まちなか回遊促進事業

道路橋りょう維持事業

質 疑 通学路へのグリーンベルト等の整備状況は。

答 弁 毎年、通学路点検を実施しており、学校からの要望に基づき、関係機関との現地調査や会議を通して必要な箇所を整備している。

質 疑 区画線の耐用年数は。また、コストを下げる取組は行っているか。

答 弁 耐用年数は通行量により異なるが5年程度を見込んでいる。また、まとめて発注しコスト削減に努めている。

国県所管河川除草作業委託事業

質 疑 草刈機の購入に当たり、入札が2回も不落となった理由は。

答 弁 入札価格が予定価格を下回らなかったためである。

議員問討議 物価変動などを考慮した上で、適正な予定価格を設定すべきである。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

定 例 会

委員会・分科会

一般質問

研修・視察等

防災行政無線等整備事業

質 疑 防災行政無線戸別受信機2,970台を整備したとのことであるが、予定どおりに整備できたのか。

答 弁 75歳以上のみの世帯やスマートフォンを所持していない世帯等に要望調査を行い、希望された全世帯に設置した。まだ在庫があり、今後も希望があれば設置していく。



戸別受信器



令和6年度菊池市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

【議案第80号】

質 疑 特別養護老人ホームの現在の待機者の状況は。

答 弁 現在 151件の入所申込みに対し、在宅の待機者が34人である。

質 疑 介護サービス等諸費は、約1億7,500万円の減額補正があっているが、例年どおりの減額か、それともサービスを受けられなかった方が多かったのか。

答 弁 前年度の減額補正が約1億1,800万円であったので5,700万円ほど減額が増えている。介護士等の人材不足も要因の1つではないかと思われる。

議員問討議 介護士不足の問題は大いに懸念されるべき課題である。介護士不足の解消に向けての施策の具体化をぜひ急いでいただきたい。

歳入歳出決算に関する提言

予算決算常任委員会では、令和6年度歳入歳出決算について、まず、総務文教・福祉厚生・経済建設の各分科会に、議案を分担付託し、審査を行いました。

その結果を踏まえ、委員会では、次の5事項を議会からの提言として取りまとめ、執行部に対して提出しています。

1 市民が市所有の体育施設をもっと円滑に予約できるように、体育施設の使用料及び予約の取扱いの見直し等に向けて、市内外の状況を調査研究すること。

2 介護士不足を解消し、介護サービスを存続させるための施策に努めること。



3 まつり事業については、観光目的だけでなく、新市建設計画に基づく地域間交流を目的とした地域振興事業として、費用対効果も含め、必要に応じた事業の見直しを行うこと。また、他の観光イベントについても、費用対効果の面から必要に応じた見直しを行うこと。

4 入札については、予定価格の設定については、物価変動等を考慮し、適正な積算・設計・見積りを実施すること。

5 道路維持については、市民の安全を最優先し計画的に道路修繕や白線管理、道路周辺の除草等を行うこと。



否決 議員定数条例の一部 を改正する条例案

内容 過去2度にわたる議員定数削減案の否決は、アンケートで61%が削減を望んでいた市民の声を無視し、議会の信頼を失墜させている。県内の市町議会では定数削減が相次ぎ、人口減少している本市でも避けて通れない。よって、再度議員定数を20人から18人に削減する条例案を提出する。

反対討論 議会は住民の代表として意思決定と執行機関の監視を行う重要な役割を担っている。議会に求められているのは、多様な住民ニーズを正確に反映できる議員数の確保と、議会改革による議員の質的向上である。定数削減は、住民の政治参加の権利を削り、多様な民意を切り捨て、議会機能を弱体化させる行為である。

賛成討論 今の議会は数の論理に支配され、執行部への監視・提案機能が十分に発揮されていない。定数削減は、議会の弱体化ではなく、議員の責任を重くし、質を高めるための再構築である。

反対討論 住民ニーズの多様化と地域課題の複雑化、特に半導体関連企業の進出で変わり目にある本市議会には多様性が必要である。様々な視点から政策を検証することで新たな発見がある。よって、多様な意見を反映させるため、現行の議員定数を維持すべきである。

賛成討論 議員定数削減による市政の監視機能低下への懸念は、人口5万人未満の市町村の定数の平均が16・8人であることから妥当ではなく、さらなる資質向上を必要とする議員側の課題である。地方議員の役割は、市民の声を市政に届けるパイプ役であることから、議員定数削減賛成6割以上の市民アンケートの民意は反映させるべきである。

賛成討論 前回の選挙は無投票であり、市民の審判を受けておらず代表としての資格がないと考える。これまでの定数削減案否決に対しては、市民から厳しい意見が多数寄せられている。他自治体の状況と市民アンケートの結果を踏まえ、来年の改選前に、議会が身を切る改革を行い市民の理解を得なければならない。

国に意見書を提出

少人数学級・教職員定数の 改善に係る意見書

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠である。これらの実現に向けた国の予算措置を求め、意見書を提出するもの。

1 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。

2 教職員の処遇について、新規採用を持続的に確保し、

専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、改善に必要な財政措置を講じること。

3 自治体の実効性のある働き方改革を実行するために必要な予算措置を講じること。



Q 令和6年度の本市のふるさと納税寄附額と県内順位は。

A 5億1,013万2,500円で、県内では23位である。



泉田 栄一郎 議員

動画はこちら→



Q 全国各地、特産品や体験型などのふるさと納税が活発に行われている。本市においては昨年度約5億円。市長は施政方針で20億円を目指すと表明した。そのための具体的戦略を問う。

A J A 菊池や商工会などの各団体と連携し、新たな返礼品の拡充を図っている。各団体と連携することにより、他地域には見られない付加価値の高い商品を創出し、寄附額の拡大につなげたい。

観光戦略について

Q 新たな観光推進体制である「DMO」は地域の観光資源を活用し観光客誘致、地域経済の活性化を目指すもの。「稼ぐ力を高める」

ための戦略を問う。

A 国の交付金を最大限活用し観光の司令塔となるDMOの体制を強化する。

また、温泉街リブランドディング事業では、風情ある景観づくりや泊食分離プランの導入を支援し「現代の湯治場」としての魅力をより一層高める。

さらに、データに基づく戦略的なプロモーションを展開するとともに、多言語対応や観光地間のアクセス整備にも力を入れ、誰もが快適に旅を楽しめる環境を整えていく。



Q 学校体育館及び公共施設体育館の空調設備の設置状況は。

A 学校体育館にはなく、社会体育施設の2か所に設置している。



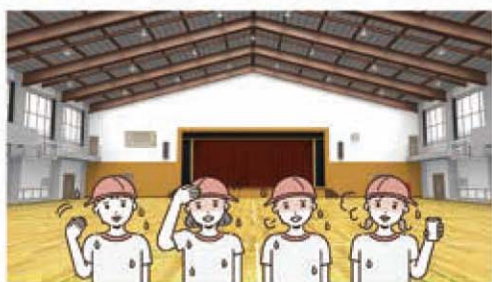
稲継 智康 議員

動画はこちら→



Q 体育館の空調設備は熱中症対策において早急の課題であるが、本市として具体的にどのように取り組んでいくつもりか。

A 熱中症対策や避難所の環境整備の観点から、体育館への空調設備の設置は喫緊の課題であるため、災害時に避難所として活用される学校体育館の空調設備の設置に対する交付金を来年度申請したい。



Q 限府地区のまちなか活性化はスピード感を持って支援する必要があると考えられているが、現状の市創業支援補助金の拡充の考えはあるか。

A まちなかへの新規出店を加速させるため、期限を区切って現状の補助金の要件を拡充し、新たな支援について検討したい。

Q 本市中小企業者のDX化が中々進まない状況であるが、本市としてどのように支援していくか。

A 国・県が実施するDX化推進の補助金の活用を強く推進している。また、その補助金で導入できる機器をイメージできよう、市・商工会の共催により展示会を開催するなど、利用促進につなげる支援を行う。

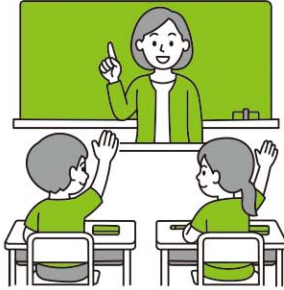
Q 教職員による盗撮防止策は。

A 研修や指導を徹底している。

動画はこちら→



福島 英徳 議員



A 菊池市児童生徒性暴力等対策協議会を設置し、性暴力等を防止する環境整備を行っている。また、教職員へ性暴力等に関する研修を行い、不祥事防止対策に努めている。

Q 過去の不祥事や外部事案を踏まえ、教育委員会は内部者による盗撮リスクをどう認識し、未然防止策を講じているのか。

A 教室内への私物スマホの持込は原則禁止とし、タブレット等の取扱いは、疑念を持たれない使い方。また、学校・教育委員会に直接通報・相談できる体制をとっており、匿名でも可能である。さらに、関係機関の相談窓口も児童生徒及び保護者へ周知している。今後も、性暴力等を防止するため、教育委員会から学校に対し研修や指導を徹底していく。

Q 私物スマホ持込み禁止やタブレット端末のカメラ機能制限、通報体制や匿名相談の充実など、全学的な安全策をどう進めるのか。

Q 市民が集う場や公共施設にマイボトル用給水機を設置する考えは。

A 給湯室を活用していただきたい。

動画はこちら→



島 春代 議員



A マイボトルの利用促進は、資源循環型社会の構築の観点から有用性の高いものと認識している。リデュース、リユース、リサイクルの推進に当たり、様々な機会を通じて周知、啓発に努めたい。現状マイボトルへの給水は、各施設の給湯室を活用していただきたい。

Q 水道直結のマイボトル用給水機の設定は、熱中症対策とともにプラスチックごみを削減し、気候変動や海洋資源の保護に関わる持続可能な社会の実現を推進する有効策の1つであると考えられているがどうか。

その他の質問

- ・全大腸内視鏡検査への助成について



A 授乳室の設置がある公共施設は、搾乳可能であることを表示する準備を進めたい。また、授乳スペースの提供を行っている赤ちゃんの駅登録事業所に対し、表示していただけるよう依頼したい。

Q 市内の公共施設や商業施設にある授乳室で、母親が乳児を連れていなくても安心して搾乳できるように「搾乳できます」のマークの掲示はできないか。

安心して搾乳ができる環境づくりについて

Q 老朽化している学校プールを廃止する計画はあるか。

A 集約化の可能性を3校のモデル事業で検証中である。



本藤 潔 議員

動画はこちら →



Q プールの老朽化と維持管理費の問題がある中、児童生徒の体力向上や水難事故防止のため、水泳授業の位置づけや命を守る技能の習得をどのように推進していくか。

A 水難事故を防ぐ指導や学習指導要領に基づく着衣水泳の指導を実施している。また、小中学校の希望校に対し、水辺の安全教室を開催し身を守る方法を教えている。水泳の授業は、命を守る上で極めて重要と認識しており、今後も意識・知識・技能を身につけさせるための指導を推進する。



学校での睡眠時間確保について

Q 学校で午後の授業前に10分程度の仮眠の時間を設ける取組は生徒の集中力向上や疲労回復に効果がある。学校生活の中で仮眠を取る取組の導入の考えは。

A 睡眠の重要性は認識しているが、睡眠不足にならない根本的な問題解決に向けて、基本的な生活習慣を育成するための取組である「菊池っ子60運動」を推進していることから、仮眠を取る取組の導入の予定はない。

その他の質問

・特定空き家対策について

Q 学校給食費はどのように徴収しているか。

A 全校で口座振替等により徴収している。



猿渡 美智子 議員

動画はこちら →



Q 各学校では誰が徴収事務を行っているのか。

A 小規模校の小中学校は、県費の学校事務の職員が行い、大規模校の限府小、泗水小、菊池南中、泗水中は、PTAで雇用された事務職員が行っている。

Q 熊本県内でも給食費の無償化が広がっている状況なのに、本市では、給食費の徴収に関わる経費までPTAが負担している学校がある。文科省は、給食費の徴収は自治体で行うように言っている。早急に対応すべきではないか。

A 国による給食費の無償化が実現されるまでの期間において、国の動向及び徴収に係る事務処理等

を総合的に検証し、徴収の方法を含めて、方向性を早急に決定していきたい。

森林整備について

Q 森林は、地下水涵養に大きな役割を果たしている。本市で地下水を利用して企業に協力をお願いし、森林整備を進めるための基金をつくってはどうか。

A 水源涵養林の整備推進には企業の参加が有効と認識しており、その協力方法は企業により異なると考える。今後、効果的で協力しやすい仕組みを検討していく。



Q 低空飛行訓練の目撃情報を把握すべきではないか。

A 県全体で行うべき取組として、県と連携を図っていく。



東 奈津子 議員

動画はこちら→



Q 陸上自衛隊オスプレイの低空飛行訓練が九州7県85か所で「実施する可能性」が示された。その中に菊池市内の上空も含まれている。危険性が指摘されているオスプレイが本市の上空を飛行することについての市の見解は。

A 九州防衛局へ確認を行い、現時点で陸上自衛隊のオスプレイが本市で低空飛行を行う区域はないとのことだった。安全性は国において確認がなされているものと認識している。

地下水保全対策について

Q TSMCや関連企業の進出、開発の影響で地下水の枯渇が懸念される。保全対策として「雨水浸透枳」等の補助額の拡大や対象を企業へも広げていくべきではないか。

A 半導体関連企業の地下水取水量増加による影響を鑑み、本年4月より、補助単価を1基当たり10,000円から15,000円に引き上げ、地下水涵養に向けた取組の推進を図っている。また、補助対象範囲の拡大についても、県内自治体の同種事業等の情報を収集し、検討していく。

Q 有害鳥獣の個体数削減に向けた考え、取組は。

A 今年度の実績を踏まえ、引き続き効果的な捕獲対策を行う。



城 太志郎 議員

動画はこちら→



Q 捕獲した有害鳥獣をジビエ肉として活用する為の加工場を建設する考えはあるか。

A 隣接する日田市のジビエ処理施設より、菊池市有害鳥獣捕獲協議会に対し、捕獲個体の搬入手順や買取価格の提示、引取対応の説明があったが、当該施設の利用実績はなく、当協議会からもジビエ加工処理施設の設置要望は出ていない。

一方で、捕獲隊員の平均年齢は64歳と高齢化が進んでおり、埋設処理等が困難となることも想定されることから、今後、当協議会の意見を踏まえ、ジビエ加工処理施設の必要性や実現可能性を含め、検討していく。

Q 民間でジビエ加工施設の建設の意思があった場合、市としてどのような協力や支援ができるか。

A 活用可能な制度等に関する情報提供を行うとともに、地域での捕獲活動を行っている本市の有害鳥獣捕獲隊との連携・調整の場を設けるなど事業化に向けた支援を行ってきたい。

Q 本市の耕作放棄地の面積の推移は。

A 過去3年間で増加傾向にあり、令和6年度は133ヘクタールだった。

動画はこちら→



二ノ文 伸元 議員



Q 増加の原因と対応策を示せ。

A 原因は、農業従事者の高齢化と後継者不足、相続人が市外在住であること、耕作条件の悪さによる借手の不在などが考えられる。

対応策として、耕作放棄地のあつせん、地域ぐるみの取組に対する支援、新規就農者の確保、区画整理や農道・用排水路整備、鳥獣被害の防止を目的とした補助などの取組を行っており、耕作放棄地の発生防止と解消に努めている。



子ども医療費助成制度について

Q 令和6年第2回定例会において、子ども医療費助成制度の高額医療の償還払いから現物給付実施についての質問に対し、今後、調査研究をしていく旨の答弁であったがその後の経過を示せ。

A 高額療養費の取扱いの仕組みづくり、今まで以上の事務処理時間、医療機関や各保険者などの理解と協力が必要であることが分かった。また、高額療養費の申請をされず自治体が負担するケースがあり、市の財政負担が増加する課題も見えてきた。引き続き慎重に調査研究したい。

Q 企業誘致促進補助金要綱を改正すべきではないか。

A 対象業種の範囲の見直しについて検討したい。

動画はこちら→



荒木 崇之 議員



Q 菊池市に企業が進出する場合、一定の条件を満たせば補助金が交付されるが、物流倉庫はなぜ対象外なのか。

A 菊池市企業誘致促進補助金の対象要件として、製造の用に供する施設に限定しており、物流施設は対象外となっている。対象要件は、他の業種を含め県内市町村の動向や経済効果を含めて判断してきた。

Q 泗水の田島地区に八代市を本社とする企業が進出し、約150人を雇用し、



物流・運搬業をされているが、補助金の対象外となっている。製造業に関わらず、一定の雇用を行う場合は、補助金の対象となるように、企業誘致促進補助金の要綱を改正すべきではないか。

A 企業の新設・増設の状況は、半導体関連・自動車関連の製造業が中心ではあるが、近年、道路貨物運送業、倉庫業の進出も増加している。

市民の就業機会の選択肢の拡大、また、企業による市民の雇用促進に繋がるのであれば、対象業種の範囲の見直しについて検討したい。

その他の質問

- ・ 特定品目のゴミ処理について

Q 移動販売の現状と今後の拡充は。

A 多くの方が利用しており、拡充を含め支援したい。



木下 雄二 議員

動画はこちら→



Q 竜門ダム未利用水の活用が見込まれるTSMCをはじめとする半導体関連企業に対して企業版ふるさと納税を推進する必要があるが市長のトップセールスの状況は。



JAによる移動販売(龍門地区)

A 令和6年度は延べ8,160人に利用されており、当初のルートに加え、現在3か所が追加されている。買い物支援だけでなく介護予防等に繋がるため、今後も地域のニーズを把握し、拡充を含め支援していきたい。

Q 菊池市第三セクター連絡協議会運行の移動販売終了後にJAによる移動販売が再開したが現在の状況と今後の拡充は。

A 誘致企業をはじめ、ターゲット企業を選定しトップセールスを行っており、これまでの確認がとれる件数は、令和4年度が8件、令和5年度が23件、令和6年度が17件である。

Q 令和4年に倒壊した追尾型太陽光発電施設を、環境保全協定を締結した地元と協議をせずに再設置したことへの市の対応は。

A 協定に基づく協議が行われずに施工されていたことから、発電事業者代理人弁護士に対して書面で状況確認を行ったが回答は得られなかった。

その他の質問

- ・道路整備について
- ・菊池市公共施設等総合管理計画について
- ・九州産廃菊池事業所廃止後の地元水迫地区への対応について

議会を

インターネットで!

傍聴においでいただけない場合でも、インターネットで過去の本会議の録画映像をご覧ください。

また、紙面の一般質問のページのQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像へアクセスできます。

※リアルタイムでの中継ではありません。録画映像の配信までに時間がかかる場合があります。



菊池市議会HP
議会中継

菊池市議会 議会映像 検索

菊池市議会政治倫理条例の規定に基づき、議員が事実上支配力を持つ法人台帳を市HPに掲載しています。

議長交際費を 公表します

令和7年8〜10月分は、左記のとおりです。

会費(公的性格を有する団体との協議会費及び負担金)

2件 1万6,000円

その他(他自治体への研修及び議長会等経費)

0件 0円

合計

2件 1万6,000円

議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動を行うために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上、妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めています。

菊池市民ふれあいレガッタ

菊池市議会では、竜門ダム(地域)の振興をはじめ、スポーツの振興、菊池市のPR等の観点から、毎年、ボートチームを編成し、練習を行い、大会に出場しています。

7月6日の大会は、ナックルフォアによる300mのレースが行われ、市の内外から35チームが参加しました。市議会からは「菊池ドラゴンズ」と「菊池ドジャース」の2チームが出場しています。



『菊池ドジャース』
左から、古田・荒木・城・福島・二ノ文



『菊池ドラゴンズ』
左から、島・田中・本藤・緒方

猛暑の中激戦が繰り広げられ、結果は菊池ドラゴンズが2分4秒の14位、菊池ドジャースが1分56秒の10位となり、全国市町村交流レガッタ大会には、菊池ドジャースが、菊池ドラゴンズとチーム名を変えて出場することになりました。

※菊池ドラゴンズは、全国大会時に菊池市議会が代々使用してきたチーム名で、竜門ダム竜ノドラゴンという意味があり、過去には準優勝や3位等、輝かしい成績を収めてきた伝統があります。

全国市町村交流レガッタ (豊岡大会)

9月27日・28日、兵庫県豊岡市で行われた大会(400m)には、全体で113チームの参加があり、議会議員の部は27チームでした。本市からは古田議員を監督に、二ノ文・荒木・緒方・福島・城の議員6名を選抜・派遣し、全国で12位の成績を収めました。

また、本市からは男子の部に「菊池市スポーツ推進員おっさんがクルー」と女子の部に「チーム☆カップ」が参加し、会場を大いに盛り上げました。



全国12位（議会議員の部）
『菊池ドラゴンズ』
左から、城・福島・ニノ文・古田
水上議長・緒方・荒木



大会と並行して開催された議長懇話会に出席された、水上議長も応援に来られました。

予選では接戦を展開しゴールまで1艇身を争う激しいレースで会場を沸かせ、タイムは1分56秒と好成績でした。本選では疲労とプレッシャーからか2分20秒と予選時よりわずかに低下しましたが、選手たちは全力を出し切りました。来年の大会での更なる活躍に期待が高まります。



菊池地域市町議会議員研修会

■期日 令和7年8月7日（木）
■場所 日台会館

■半導体産業集積強化に向けた熊本県の取組みについて

県内・九州の半導体産業の動向や立地環境などの理解を深めました。また、企業の誘致や支援、地下水保全などの県の取組を確認しました。世界的に需要が高まる半導体分野で、熊本県が果たす役割は大きく、恵まれた環境と積極的な姿勢に強い印象を受けました。今後は投資拡大により経済・雇用が活性化し、環境保全や地域共生を重視しつつ、日本全体の産業発展をけん引することが期待されます。

■菊池地域の渋滞対策について

道路予算や交通計画、渋滞対策などの取組を学び、道路整備の多面的な重要性を再認識しました。渋滞緩和は地域活力に直結し、今後は、ICT活用や公共交通との連携を図り、持続可能で安全・快適な道路ネットワークの構築が重要であると考えます。



訃報

去る9月21日、本藤潔議員が急逝されました。

本藤潔議員は令和4年5月に初当選され、市民の負託に応えるべく、就任以来熱心に市政の課題に取り組んでこられました。福祉厚生常任委員会副委員長として、特に、子育て分野の課題解決に意欲を燃やし、その今後の活躍に多くの期待が寄せられていた矢先でした。

議員一同は、本藤潔議員のこれまでの議員活動や遺志を受け継ぎ、志を一つにして、菊池市の発展のために全力で取り組む覚悟でございます。

生前の熱意あるご活躍に深く感謝を申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。



委員会の委員の交代

本藤潔議員の逝去に伴い、9月25日付けで、福祉厚生常任委員会副委員長に東奈津子議員が、福祉厚生常任委員会委員及び議会広報特別委員会委員に城太志郎議員が就任しました。

令和7年 第4回 菊池市議会定例会日程の予定



月 日	区 分	日 程
11月26日	本会議	開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明
(11月27日～12月1日 休会)		
12月2日	本会議	質疑・委員会付託
	委員会	予算決算常任委員会
12月3日 12月5日	本会議	一般質問
(12月6日～7日 休会)		
12月8日	本会議	一般質問
12月9日 12月10日	委員会	常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設)
(12月11日～15日 休会)		
12月16日	委員会	予算決算常任委員会
(12月17日～18日 休会)		
12月19日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決 閉会

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

議会傍聴を お待ちしております！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席は、バリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しください。皆さまのお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。



※感染症対策などにより、入場に制限がある場合があります。

12月定例会は11月26日(水)に開会しました。

編集後記

菊池市に広がる水田の稲刈りも終わり、今年の猛暑が嘘のように涼のき、涼しさを通り越して朝夕は肌寒さを感じるほどになりました。先日まで暑さで顔を真っ赤にして帰宅していた小学一年生の娘が、最近ではセーターを着て登校しているのを見ると、秋はどこへ行ってしまったのだらうと感じます。この議会だよりが市民の皆様のお手元に届く頃には、すっかり冬の気配が深まっていることでしょう。寒さが一段と厳しくなりますので、どうぞご自愛くださいませ。

さて、私ごとで恐縮ですが、今年4月の補欠選挙で当選させていただき、今回から議会広報特別委員会の一員として議会だよりの作成に関わらせていただくことになりました。新人でまだまだ勉強することばかりですが、市民の皆様の一々でも多くが議会に関心を持っていただけ、わかりやすく親しみのある議会だよりになるよう、尽力してまいります。

議会広報特別委員 城 太志郎

委員長／泉田 栄一郎 副委員長／大山 宝治
委員／城 太志郎 安武 睦夫 稲継 智康 島 春代

■議会広報特別委員会■